社会福祉法人
宮城福祉会

さくらの里だより

令和５年10月号

さくらの里若柳
短期・通所・居宅・ケア・特養

栗原市若柳字川北塚原15-1
0228-32-7515

さくらの里若柳では9月15日特別養護老人ホーム、11日から16日までの6日間デイサービス、18日ショートステイ、21日ケアハウスと永年にわたり社会に尽くしてこられたご利用者の皆様を敬愛し、ご長寿をお祝いするために事業所毎に敬老会を開催いたしました。どの会場の敬老会でもご出席された皆様を拝見しておりますと、これまで多くの困難やつらい出来事もあったことと思いますが、

その穏やかなお姿に私もしっかりと後輩へバトンを渡していかなければいけないと励まされる思いが致しました。また、式典での代表者の心のこもった謝辞や会食でのユーモアにあふれた乾杯のご発声に私たち職員もたくさんの元気と感動をいただきました。ご利用者の皆様にはこれからも元気にお過ごしいただき、時には若いころのお話も聞かせていただければ嬉しいです。（タニタ）

☆特養☆ 祝

9月15日、第8回目となる敬老会を開催しました。今年もコロナウイルス影響もあり、式典のみの開催となりました。式典後にはユニットに戻り、お祝い弁当を食べながら皆さんとお祝いをしています。
豪華な弁当に「美味しいね」と話されながら楽しく召し上がられていました。
これからもいつまでもお元気で一緒に楽しい思い出をたくさん作って行きたいと思います。
本当におめでとうございます。（ダイサク）

☆デイサービス☆

いつも ありがとう

みんな元気に過ごしましょう カンパ～イ

9月18日は敬老の日でしたね。私はおじいちゃん、おばあちゃん子だったので、小さい頃は「肩たたき券」をプレゼントした覚えがあります。皆さんはどのような敬老の日を迎えられたでしょうか？

デイサービスでは、9月11日からの1週間を敬老会週間とし、皆さんのご長寿をお祝いしました。敬老の日は「海老の日」とも言われるようで、海老は「腰が曲がるほど長生きする」という縁起のいい長寿の象徴ですが、デイサービスをご利用の皆さんを見ていると、姿勢も良くお元気な方が多いので、改めて皆さんの健康長寿を実感しました。ここ数年はコロナ感染症の予防から、皆さんが大好きなカラオケを控えていましたが、今年は賑やかに日頃秘めている皆さんの美声を披露していただきました。歌の披露が進むにつれ、思い出しながら踊りを披露して下さる方もいらっしゃいました。

誕生日のお祝いとはまた違い、敬老のお祝いは年を重ねることの喜びが感じられる大切な日ですね。照れながらも喜ばれている皆さんの表情からは、嬉しさが感じられました。

これからも楽しくデイサービスに通うことが皆さんの健康長寿の秘訣となるよう、微力ですが職員全員の笑顔でお迎えしたいと思います。（イシカワ）

職員紹介

今年度、特養からデイサービスへ異動となった職員を紹介します。

デイサービスをご利用する利用者の皆さんにとってはお孫さんと同年代という方も多いです。とてもおっとりとした可菜さんの性格もあり、ご利用者の皆さんから大変かわいがっていただいています。

名前：大友可菜（オオトモ　カナ）
所属：デイサービスセンター　さくらの里若柳
一言：皆さまに少しでも顔を覚えていただけるよう頑張りますので、よろしくお願いします。ちなみに「お蕎麦屋巡り」が好きです。

☆ショートステイ☆

９月18日敬老の日。ショートステイでは、その日ご利用されている方々をお祝いする敬老会を開催しました。会場でそれぞれの席に案内された皆さんは今から何が始まるかと少々緊張気味。お一人お一人の名前と年齢が呼ばれ、記念品とおめでとうカードを受け取る頃には笑顔が見られていました。おめでとうカードとは、職員全員で数か月前から作業を分担して作った手作りのカードです。

アトラクションでは、利用者さんのさんさ時雨やおいとこの歌と踊りで一気に会場は賑やかな場に。職員によるきよしのズンドコ節の踊りの最後は、皆さんで手に花を付けて若柳音頭を輪になって踊りました。「若柳音頭を聞いて涙っこ出たっちゃ～」とうれしそうな声。若柳町以外の皆さんも陽気なリズムに手拍子をされていました。

会の中で１０５歳の最高齢である遠藤かおるさんは「皆さん、これからも力を合わせて元気で長生きしましょう」と力強く話されました。今後もショートステイをご利用される皆さんが心地よく元気に過ごすことができるよう、ご家族の方々と職員と力を合わせて頑張っていきましょう。（イワブチ）

☆ケアハウス

9月21日、盛大に「令和5年度敬老会」を執り行いました。

第一部敬老会式典では今年は15名の方が参加されています。今年も皆さん元気にこの日を迎えられています。式典後はアトラクションとして職員による花笠音頭が披露され「今年も楽しみにしてたよ」と花笠を手にして一緒になって楽しんで頂きました。

式典終了後第二部ではユニット会場にてお赤飯、お刺身、茶碗蒸し等祝い膳を頂きました。会食中に今までの行事や施設内の様子をスライドで上映し、思い出話しをしながら「あら～、懐かしい」「また来年もやりたいね」と楽しいひと時を過ごして頂きました。来年も皆さんが元気に過ごされ、敬老会を迎えたいですね。（オジマ）

若柳中学校3年生 キャリアセミナー

9月22日に「キャリアセミナー」が開催され、ケアハウスの遠藤真澄管理者が講師として出席しました。この授業は「様々な職種に携わる大人との出会い、対話を通じて、生徒一人一人が自らの生き方を考え、将来に対する目的意識をもち、自己の進路を選択決定しようとする意欲や態度を育成する」という目的で例年行われています。当日は地域の様々な業種の方が講師として講義を行いました。今回の講座で生徒の皆さんが、主体的に自己の進路を選択できる機会になっていただけたら幸いです。

（タカハシ）

高齢者との会話を盛り上げるコツ

チェック

高齢者との会話に困った経験はありませんか？２人きりになった時、「何を話したらいいの？」と気まずくなったことはありませんか？介護での会話内容にこれは絶対正解というものはありませんが、悩んだ時に使える話題を紹介したいと思います。

例えば…

天気に関する話…「今日の天気予報をみましたか？」

相手が「見た」と答えた場合…見るのを忘れたから教えて下さいと伝え、昔と最近の気候の変化について話題を広げる。相手が「見ていない」と答えた場合…天気予報の内容を伝えた上で季節の話題へつなげる。高齢者との会話では、漠然とした質問ではなく、どちらに転がっても会話が続けられる質問をすることがおすすめです。

子どもの頃や若い頃の仕事の話…「子どもの頃はどんな遊びがありましたか？」
「生まれはどちらですか？」
「どんな仕事をしていたのですか？」

出身地や育った環境についての質問は、相手の返答によって話の幅を広げることができる便利な問いかけです。高齢者の中には昔の出来事のほうが鮮明に覚えている方も多くいます。会話を広げる大きなチャンスです！バリバリ仕事をしてきた男性には仕事の話が鉄板です。男女問わず、活躍していた頃の話題を出すことでイキイキした姿をみれると思います。

相手が自分から話したくなるような話題を提供してみましょう(^^♪

編集後記

あんなに暑い暑いと話していたのに、いつの間にか寒いと話すことが増えてきましたね。急に気温が下がり、衣替えが追い付かずにいる方も多いのではないでしょうか？
温かい物を食べて体を温めて過ごしましょう☆
来月は秋満載の広報誌を予定しています♪お楽しみに～☆

（アユミ）